



錦町の学校の教育にはつながりがあります。  
 今回は、学力に絞り込んで説明します。左側から教育事務所、町教委、本校になっています。

▼熊本県球磨教育事務所

確かな学力の育成
◎ 誰一人取り残さない学びの保障
・児童生徒が分かったと実感できる授業の構築
・児童生徒が教科書を使いこなし、読み解く力を習得する取組の推進
◎ 児童生徒が学びの主体となる授業の充実
・児童生徒が課題の解決に向け、自分で考え、自分から取り組む授業の充実
・個別最適な学びと協働的な学びの充実に向けた、1人1台端末の効果的な活用
◎ 教員が学びの主体となるための研修の推進
・管理職の総合的なマネジメント能力の発揮
・授業力の向上へ向け教員が互いに学び合う校内研修や授業研究会等の充実
○ グローバル人材の育成に向けた取組の推進
・英語で自分の考えや気持ちを伝えることができる児童生徒の育成
・学習者用デジタル教科書等の効果的活用及び言語活動を通じた指導の充実
・CEFRのA1レベル相当(英検3級)以上の英語力の育成に向けた取組の充実
○ キャリア教育の充実
・キャリア・パスポート等を活用した進路指導の充実

▼錦町努力目標

確かな学力の育成
(1) 学び続ける力を育てる質の高い授業の実践
① 児童生徒が学びの主体となる授業の推進
② 学習の基盤となる資質・能力(読み解く力)を高める取組の推進
③ 課題をよりよく解決する「探究的な学び」の推進
④ ICT活用による分かる授業の実践
⑤ 4校連携した英語力向上対策の推進
(2) 家庭と連携した学習の習慣化と読書活動の推進
① 家庭学習におけるICT活用の推進
② 発達段階に応じた計画的な家庭学習の充実
③ 図書館の利活用による学習活動・読書活動の充実

▼木上小学校

目指す児童像	
き	きらきらと学ぶ児童 目を輝かせ、よく考え、進んで学ぶ
児童に付けたい資質・能力	
学習面での具体的な姿	
判断力	教科書等々の課題に対して既習内容や資料をもとに比較・検討し、自分なりの根拠をもって考えを選択・表現できる児童
読解力	文章や資料の内容を正しく読み取り、要点や筆者の意図を捉え、自分の考えと結び付けて理解できる児童
協働力	友達や考えを交流しながら課題解決に取り組み、互いのよさを生かして学びを深めることができる児童

子どもが授業の主体となり協働しながら、判断力や読解力を高めていきます。

授業デザインとしては **熊本の未来の創り手となる子供たちの学び**

## 熊本の子供たちを、「学びの主体」として育てるために！

～子供が問いを發し、課題に主体的に立ち向かい、学びを深める授業改善の推進～

全体に問う前に、「近くの友達と意見交換をしてください。」など、必ず自分の考えをアウトプットする機会を設定してください。(最初の一步)

ペアを探すのに時間を要する。男女ペアができない。誰とでも組もうとしない姿があったときは、学級経営のチャンスです。見逃さずに正すことが大切！

考えをもった児童は全員挙手の習慣(雰囲気)を！「手を上げなくてもいいんだ。」という雰囲気はありませんか？4月で学習規律の基盤づくりは完成させなければ、途中からやろうと思ってもなかなかできません。

目指す授業は「教師3:児童7」(45分の割合)です。個々の先生方の教育実践を生かして「子ども主体の授業」について取り組んでいただきたいと思います。